

第141号 令和3年1月7日 発行

- 新年のご挨拶
- 安全Topics
- 院内サークル活動報告

IWAKUNI
MEDICAL
CENTER

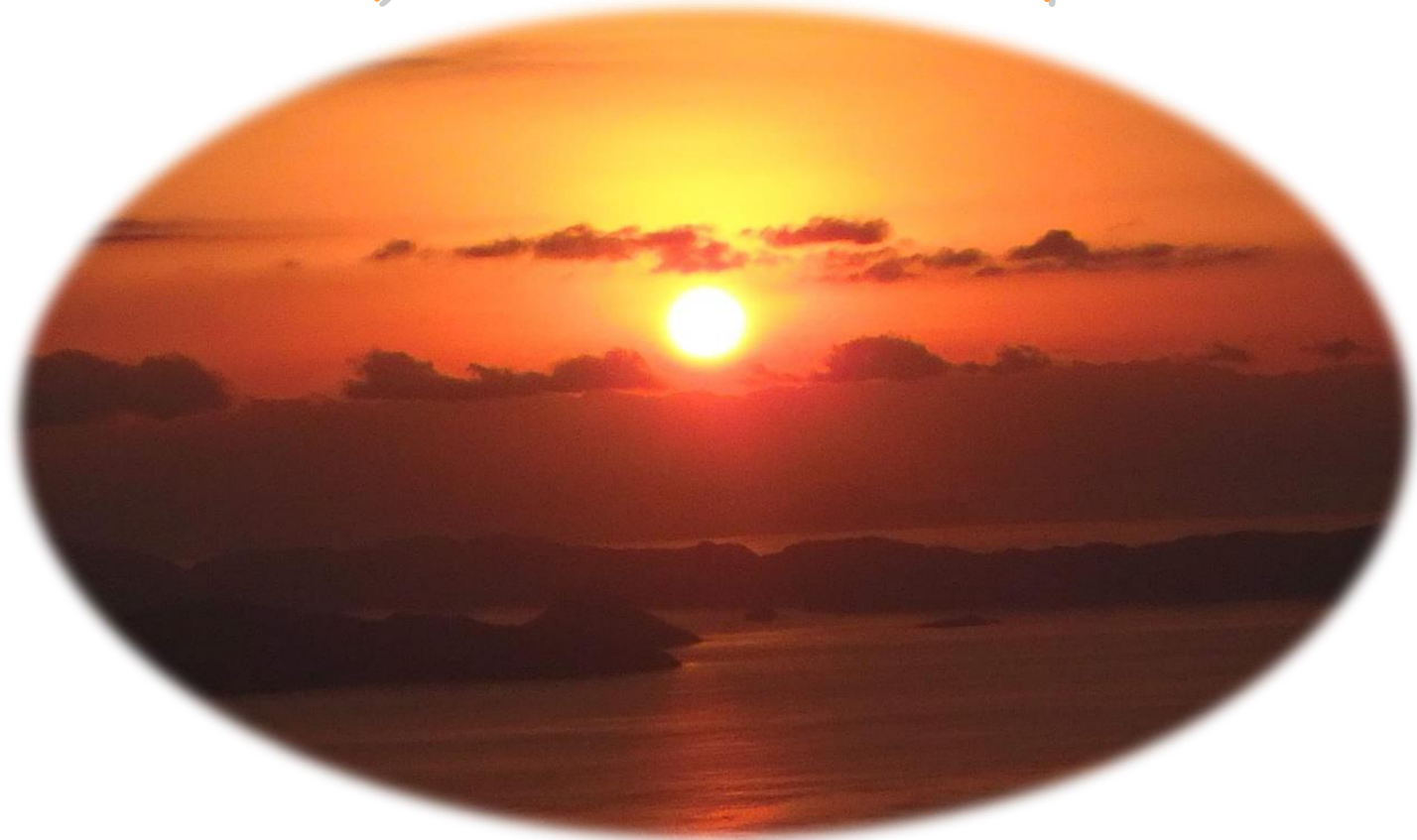


地域医療支援病院

岩国市医療センター
医師会病院だより

<http://iwakuni-med.jp>

笑顔と元気で地域貢献



撮影：走り隊 松永 健一（銭壺山より）

岩国市医療センター医師会病院

〒740-0021

岩国市室の木町3丁目6-12

☎ (0827) 21-3211 (代表)

E-mail : info@iwakuni-med.jp

謹賀新年



新春を迎え皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます

新年挨拶

院長 茶川 治樹



新年あけましておめでとうございます。
昨年、新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威をふるい、院内感染対策に懸命に取り組んでいましたが、11月中旬に院内クラスターが発生しました。その際には全職員が一丸となって対策に取り組み、12月上旬から診療再開が可能となりました。その間、利用者の方々に大変なご心痛とご不安をおかけしましたことを心からおわび申し上げます。
令和2年度の病院目標である「笑顔と元気で地域貢献」の思いを心に刻んで、地域の皆さんに安心して利用していただける病院を目指してがんばりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年 新年のご挨拶

副院長 貴船 雅夫



明けましておめでとうございます。
昨年の当院の最大のニュースは病院を激震させた院内クラスターの発生だと思います。コロナの発生で職場や学校などの地域社会の中で心無い言葉や中傷に傷つけられた職員やその家族。同居家族から心無い言葉をかけられた職員。涙を流しながら頑張った職員。心が折れそうになりながらも一丸となって職務を超えて頑張った職員の皆さんにはただただ感謝しかありません。
また、沢山の患者さんが病院やスタッフのことを案じてくださり、励ましの言葉を私たちに掛けてくださいました。この場を借りて御礼申し上げます。
今年もみんなで一丸となって前を向いていけたらと思います。本年もよろしくお願いいたします。

年頭ごあいさつ

副院長 福田 雅通

今年は復興の灯りが見える1年になればいいな、そうしなくてはいけないなという気持ちです。これまで私たち、いえ少なくとも私は昨年ほど苦しい時代に遭遇したことがありませんでした。しかし想えば阪神淡路や東北の被災者の方々が達成した、あるいは目指している絶望からの復興。改めて頭が下がります。さらに過去にさかのぼれば日本は先の大戦で焦土と化して、生活も立ちいかなくなったところから強く立ち上がってきたんですね。戦後生まれの私にはそのご苦労の細々はわかりませんが、日本の強さ、日本人の強さできつとこの苦境を乗り越えられると信じます。

傷ついた人、弱い立場の人を思いやる心が一番大切な時、この一年かもしれません。



新年によせて

看護部長 安永 彰子

新年あけまして、おめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症と共に歩んだ1年でした。『非常』の辛さと人の温かさや愚かさを知り、『平常』のありがたみを知りました。“艱難汝を玉にす(逆境は人を賢くする)”私の好きな言葉です。今なお、感染終息の光は見えませんが、職員一丸となって、しっかり感染対策を徹底し、地域の皆様の信頼にこたえることができるように、安心・安全そして笑顔と元気で地域貢献できるように頑張ります。

本年は、『子』のように走り回らず、『丑』のごとくどっしりと構え仲間を大事にし、ともに成長し確実に歩んでいきたいと思えます。本年も、どうぞよろしく願いいたします。



新年のご挨拶

副看護部長 浜 佳恵

新年あけましておめでとうございます。昨年一年は世界中が新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年、そして新しい一年の始まり・・・今もその闘いは続いています。

職員の皆様の日々の感染対策へのご協力に感謝致します。自粛生活、ソーシャルディスタンスで人との距離はあるけれど、人を思う心、思いやりを忘れることなく、マスクの下にも笑顔あり！で毎日を過ごしていこうと思い、実践に努めています。いつまで頑張ればいい?? わからないけれど、いつか、不自由な日々は解消される日が来るはずで。

医師会病院職員一同、心を寄せ合い、この難局を乗り越えていしましょう。今年もどうぞよろしく願い致します。



新年のご挨拶

事務部長 津川 智一



あけましておめでとうございます。

去年は、多くの方々に助けて頂いた一年でした。優しいお言葉や物資の無償提供など感謝の年でした。

また、リモート会議や講演など新しいデジタルの活用に多く触れる年でもありました。

当院では、計画していた『病院まつりの拡大』や『新入職員オリエンテーションの充実』が感染拡大防止を理由に実現できませんでした。

『デジタル技術による社会変革』を柔軟に取り入れて、職場の活性化や地域貢献が出来るよう、本年も精進してまいります。

新年を迎えて

事務副部長 大賀 雅夫



2020年は、新型ウイルスに世界が翻弄された年でした。このウイルス騒動を、少し遠くから見ていた感覚で、まさか当院がその渦中に巻き込まれるとは思いませんでした。

昨年当初は、この流行により多くの病院が患者数の減少など大きな影響を受けていましたが、当院ではその影響が感じられないくらい順調な病床運営が続いていました。

しかし、このウイルスの感染力は強く、当院も直撃を受け、外来、入退院の休止に至りました。職員にとっては、感染対策のための健康チェック当番や消毒作業、行動制限など、精神的にも非常に大きな負担となりました。そのような中でも、最短で病院の再開ができたことは、職員の献身的な努力と協力によるものにほかありません。

去年の経験も、きっと将来には大きな力として受け継がれていくものと信じています。

さて、2021年は、未だ解決しないウイルスとの戦いが続きそうですが、病院機能評価も待っています。皆で協力し、去年の経験を活かして良い年になるように願ってやみません。



“健康いきいき” 10のポイント

～ポイント⑦認知症編～

軽度認知障害（MCI）とは？

- ◆軽度認知障害は、もの忘れなど記憶力の低下は見られますが、日常生活には大きな問題がない状態です。
- ◆下の項目は軽度認知障害の主な症状の例です。いくつも当てはまる場合には「もの忘れ外来」など認知症の専門医や地域包括支援センターなどに相談しましょう。

- 物忘れが増えた。
- 日付や曜日が分からないときがある。
- 簡単な計算ができなくなった。
- テレビのドラマの内容が理解できないときがある。
- 料理や家事などがてきぱきできなくなった。
- 話しかけられると、今までしていたことを忘れてしまう。
- 趣味や芸事など、今まで楽しんでいたことへの意欲がなくなった。



早めの対応で認知症の進行を先延ばしに

認知症とは、脳の病気などによって記憶や思考などの認知機能が衰え慢性的に日常生活に支障をきたしている状態をいいます。軽度認知障害（MCI）の段階であれば、生活習慣の改善によって回復することや進行を抑える事が期待できます。

生活習慣・生活環境の改善ポイント

運動を習慣にする

毎日適度に歩いたり、スクワットなどの足腰の筋力トレーニングを習慣にして、筋力やバランス能力などを保ちましょう

脳に刺激を与える活動を

読書やカラオケ、囲碁・将棋、ボランティアや地域の「通いの場」などに参加して、日頃から脳に刺激を与えましょう。

来月は『“健康いきいき”10のポイント～ポイント⑧喫煙～』について掲載予定です。



当院のホームページに、皆さんの健康維持・増進の手助けとなるようにと作成した「健康づくりパンフレット」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

走り隊活動報告

2020年11月8日 愛宕コンプレックスで開催された「第3回IWAKUNI絆EKIDEN」に2チームで参戦してきました。選手の声を紹介します。

Aチーム

第1区 松永健一「当初は同じ日にある別の大会に参加予定でしたが、今シーズンは大会も無く、パフォーマンスも上がっていなかったため、楽しく走れる岩国絆駅伝に参加することにしました。コロナ禍で開催される大会ということで制約も多かったですが無事に大会を終えることができました。個人的には練習不足でしたが、血鬼術を駆使し想定より良いタイムで襷を渡すことができました。次回はサブ10を目標に走りたいと思います。」

第2区 岡本修一「久しぶりの大会で気持ちよく楽しく走れました！！」とりたいところですが3km走、相当しんどかったです。でも気持ちのいい雰囲気、緊張感の中、とても楽しかったです。今の状況が落ち着いたらまたみんなで走りたいです。」

第3区 川崎寿郎「走り隊の臨時メンバーとして誘っていただき今回、「IWAKUNI絆EKIDEN」に初参加しました。誘われた時、長距離を走ることはほとんどしていなかった為、走り隊のメンバーに迷惑をかけない程度に走れるよう10月より練習を始めました。体重も落とそうと日々練習をしましたが、体重は変化せず本番を迎えました。重い体重の為か、もしくは張り切りすぎた為かレースの後半、右太腿と左ふくらはぎを痛めてしまいましたが、メンバーに迷惑をかけることなく、襷を繋げることが出来、走る事の楽しさも感じることも出来ました。」

第4区 西野立慮香「この度初めて駅伝に参加させていただきました。学生以来の久しぶりの全力疾走で、身体は悲鳴を上げてどうなることかと思いましたが、たすきを待っている人がいると思うと不思議と頑張れました。走った後は爽快感もひとしおで、みなさんと一緒にハンバーガーを食べて打ち上げをしたことも良い思い出となりました。」

第5区 福本雅和「駅伝は自分の走りが順位や周囲の雰囲気に影響を与えます。応援も多く、皆の思いのこもったタスキを繋ぐためプレッシャーが半端ないですが、その分やみつきになる魅力があります。私は昨年より減量など良い準備ができたのですが、今年は気温と大会のレベルが非常に高かったため苦しい走りでした。しかしその分ゴールでの達成感と終わった時の皆の笑顔がかっこよく、かわいく感じられました。来年の大会はコロナで先が読みにくいところがありますが、色々大変な分乗り越えた時の達成感を良く多く感じられるよう練習をがんばりたいと思います。」



Bチーム

第1区 橋下望海「今年は去年に引き続き2回目の参加でしたが、去年より1分もタイムが延びてしまい20代にして体の老いを感じています。来年も参加できればちゃんと体を仕上げたいと思います。」

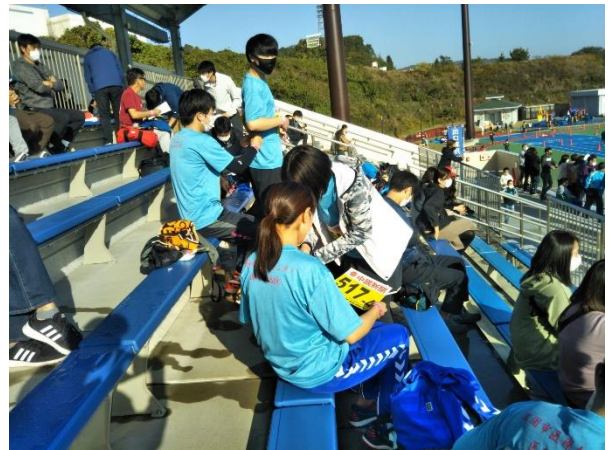
第2区 増本早佑子「緊張のせいか、いつもよりも1kmがとても長く感じられて、途中はとても苦しかったです。1人で走っていたらペースを落とすところですが、襷を繋がないとと思うと、力が湧いた気がしました。走り終わった後は爽快でした。温かく迎え入れて下さったチームの皆さんに感謝しています。」

第3区 長田剛史「走り隊に参加して今回の絆駅伝が初めての大会でした。運動不足もあり、練習からバテバテで本番は大丈夫かと思いつつ不安な気持ちのまま当日を迎えました。スタート直前は人の多さで緊張がピークに達し心臓が飛び出しそうでしたがスタートしてからはとにかくタスキを繋ぐことだけを考えて走り続けました。沿道のメンバーからの声援もパワーとなり、無事に4区の高田さんへタスキを手渡すことができました。走り終わった後の達成感は今も忘れられません。」

第4区 高田梨恵「高校生以来“走る”とはほど遠い生活を送ってきましたが、自粛期間中に何かチャレンジしたいなあと考えていたところ、お誘いを受けてこの度初めて絆駅伝に参加させて頂きました。当初は“完走する”を目標に頑張っていた練習でしたが、徐々に欲が出て“少しでも速くタスキを渡したい!”という目標が変わりました。大会当日、思ったような走りは出来ませんでしたが、走り終わった後の爽快感と達成感は最高でした！今回の駅伝で走る事の楽しさを思い出させて頂きました、ありがとうございました(*^-^*)」

第5区 石村将人「前回に続いてキズナ駅伝に参加させて頂きました。今年は大きなイベントが軒並み中止となる中、自分が唯一参加できた大会であり今年は前回よりも仲間が増え一緒に走りました。元々走る事は苦手で前回よりタイムはさらに遅くなってしまいましたが、独りでは自分にとってつらい距離も襷を繋ぎ楽しく完走する事ができました。」

おまけ 佐伯厚輔「今回は古巣チーム（岩国走ろう会）での参戦でした。自分の最大限の走りでチーム貢献、チーム3位入賞を目標に掲げ、スタート地点に立ちました。2区3位で襷を受けましたが、400m程でライバルチームの激走ランナー2人に抜かれ、内心焦りました。しかし、自分の実力以上の走りはできないことは熟知していたため、焦る気持ちを抑えマイペースを貫き、全力を出し切って3区に襷を繋ぐことができました。最終でチーム6位、悔しい結果に終わりましたが、今回の悔しさを糧に、次回大会に向けて練習に励み、チーム貢献したいと思います。」



岩国市医療センター医師会病院 外来診療担当医師

(午前中のみ)

令和3年1月1日現在

	月	火	水	木	金	土	
総合診療科	小林 知貴 (広島大学)						*毎週月曜日(9時~12時半)に診療を行っています
消化器内科 (肝臓)			川口 憲二	川口 憲二			*救急と予約診療以外は 午前中 お願いします
循環器内科	大上 泰生		大上 泰生		大上 泰生		*救急と予約診療以外は 午前中 お願いします
糖尿病内科 血液内科				佐々木 輝昌			*毎週木曜日(9時~16時半)に診療を行っています *初診の場合は、午前中 お願いします
腎臓内科	福田 雅通	福田 雅通		福田 雅通	福田 雅通	福田 雅通	
泌尿器科			松隈 悠 (山口大学)				*毎週水曜日(13時半~16時半)に診療を行っています
小児科	福田 雅通	古賀 まゆみ		福田 雅通	古賀 まゆみ	福田 雅通	*紹介状を必ずお持ち下さい
緩和ケア内科		中藤 嘉人 (午前)	中藤 嘉人	中藤 嘉人 (午前)			*初診の場合は、必ず 予約が必要です
^ インテリク内科	熊野 健一 (午前) (再診のみ)	熊野 健一 (午前)			熊野 健一 (午前)	(第1・第3) 原田 英宜 (山口大学)	*毎週 火曜日・金曜日の^ インテリク(痛みの外来)は 予約も可能です 急患や火・金曜以外の診療については、医療連携室 または直接 熊野健一へお問い合わせ下さい *第1・第3土曜日(9時~12時半)は完全予約制のため 医療連携室へお問い合わせ下さい
脳神経内科			金谷 雄平 (広島大学)				*毎週水曜日(9時~12時半)に診療を行っています (対象年齢：16歳以上) *完全予約制のため、医療連携室へ詳細はお問い合わせ下さい
整形外科	貴船 雅夫	貴船 雅夫	茶川 一樹	茶川 一樹	清水 元晴		*救急と予約診療以外は 午前中 お願いします
消化器外科						筒井 慶二郎	*入院等必要のない外来で完結する患者のみ、 詳細はお問い合わせ下さい
脳神経外科						(第1) 貞廣 浩和 (第3) 杉本 至健 (山口大学) (第2) 井本 浩哉 (山口大学)	*毎月第1・第3土曜日(10時~12時半)に診療を行っています *毎月第2土曜日(9時半~12時)に診療(機能的脳外科)を 行っています(要予約)
放射線診断科	亀田 ふみ (山口大学)	交替	伊原 研一郎 (山口大学)	交替	飯田 悦史 (山口大学)		*完全予約制のため、放射線科受付(21-3224)へ 詳細はお問い合わせ下さい
リハビリ科	繁富 頼雄 古賀 まゆみ	松本 彰紘 (広島大学)	茶川 治樹 古賀 まゆみ	森脇 宣允 古賀 まゆみ	柳居 理絵子 松本 彰紘 (広島大学)	森脇 宣允 木村 浩彰 (広島大学)	*初診の場合は、必ず 予約が必要ですよ
療育	古賀 まゆみ	茶川 治樹 古賀 まゆみ	古賀 まゆみ	古賀 まゆみ	茶川 治樹 古賀 まゆみ	茶川 治樹	*完全予約制のため、療育センター(24-0168)へ 詳細はお問い合わせ下さい

- ★ 救急は、この限りではありません
- ★ 紹介状は必ずお持ち下さい

※ 土曜日の午前中は、病院医師1名の当直体制となっています
* 医療連携室電話番号： ☎ (0827) 21-3225

医療相談室についてご案内

疾病に関する医学的な質問、医療安全、医療費、各種申請書、各種証明書、入院生活、健康診断結果等の健康管理に係る相談、保健福祉サービスに関する相談等について、医療安全管理者・看護師・薬剤師・社会福祉士等の各担当者がご相談に対応します。

本館1階受付にお気軽にご相談ください。

受付時間：9：00～17：00(平日)
9：00～12：00(土曜日)

救急センター

岩国市医療センター医師会病院 救急センターは、下記の時間に診療を行っています。

休日・夜間のお問い合わせは、救急センターへお願いします。

平日・土曜日：19：00～22：00
日曜日・祝日：9：00～22：00
電話番号：0827-21-1199

山口県 医療機能情報公表システム



携帯電話でアクセス！
左の2次元バーコードを携帯のカメラで読み取り、携帯電話に登録できます。